

概要

創刊：2010年6月。1月と8月を除く毎月1日発行（原則として年間10号）

発行部数：毎月7万部。イベントのある月は12万～15万部に増刷

配布場所：フランス国内850カ所 + サイト上でPDFダウンロード可能

- ・日本大使館、日本文化会館など行政機関
- ・大学、語学学校など教育機関
- ・日本関係の商店、レストランなど商業施設
- ・日仏文化センターなど文化施設

+ イベント時に配布□オフィシャルパートナー：ジャパン・エキスポ（フランス、ベルギー）、
パリ・ブックフェア、国際旅行サロン、シネマテック、フランスサッカー連盟他）

平時主要広告主：JAL、ANA、エールフランス、ギャラリーラファイエット、プランタン、キリン、
JTB、H.I.S、ユニクロ、ジュンク堂、主要日系レストラン・商店、在日・在仏日本語学校など。

【ズーム・ジャポン：その他の略歴】

2010年10月：シネクラブ創設。「Rendez-vous avec le Japon 映画を通して知る日本」を主題に
毎月パリ市内、ラ・パゴド映画館にて日本映画を上映後、専門家を招いて討論会を開催。

www.rendezvousaveclejapon.fr

2012年2月：陸前高田に建設された「みんなの家」プロジェクトへの資金協力を開始。

弊誌上で募金を呼びかけ11月までに約20000ユーロの寄付金を「みんなの家」建設資金として
送金。プロジェクトを手がけた建築家・伊東豊雄氏らは、設計過程を示した第13回ベネチア・
ビエンナーレ国際建築展で、最優秀賞を受賞。 www.maison.japonaide.org

2012年3月：国立ギメ東洋美術館にて「石巻日日新聞作成・手書き壁新聞展（使命展）」を開催。
同時に、同新聞社の被災時の活動記録と非常時の報道のあり方をテーマとした小冊子「使命」を
制作・無料配布。執筆協力者：池沢夏樹、岩崎貞明、鎌田慧、港千尋、内田樹（敬称略）。

www.expoishinomaki.com

2012年3月：ZOOM JAPON 賞創設（文学・漫画部門）（表彰式：パリ・ブックフェア・メインステージ）
仏語翻訳された日本文学・漫画作品の中から最優秀作品を選び、原作者と翻訳者に賞金を授与。

2012年5月：ズーム・ジャポン英語版 ZOOM JAPAN をイギリスで創刊。（4万部発行・配布）

2012年6月：ガイドブック第1弾「Le Japon vu du train（電車からみる日本）」を出版。

現在アマゾンのフランス版サイトにて日本のガイド本分野で第1位の売り上げを記録中。

2012年9月：ヴィシー市内、エトワール映画館でもシネクラブを開始。

【主なメディア露出例】

2011年：朝日新聞が弊誌による日本の震災情報の報道状況を10月17日付の紙面に掲載。

France Graphique 誌（仏）が弊誌同年5月号の表紙を掲載。

2012年：3月「使命」関連記事掲載：朝日新聞、毎日新聞、日本経済新聞、共同通信、スポニチ紙、
中日新聞、京都新聞ほか地方紙多数、毎日放送（TBS 放映）「情熱大陸」。

フランス：ル・モンド紙、ヴァン・ミニュット紙、テレラマ紙、他。

読売新聞（衛生版・ヨーロッパ）が5月15日付の紙面で ZOOM JAPAN 創刊の記事を掲載。

ParisBerlin 誌（独）が6月の誌面に弊誌連載コラムを引用・紹介。

月刊 Le Journalisme 誌（日）が「使命」の出版を6月号で紹介。

ル・モンド紙（仏）が、弊誌発行のガイドブックを10月13日付の紙面で紹介。

ザ・ジャパン・タイムズ紙（米）が弊誌の活動全般を11月3日付の紙面に掲載。